

教 育

教育行財政	275
学校教育	276
生涯学習・青少年健全育成	280
生涯学習総合センター・地区公民館	283
文化行政	294
歴史資料の調査と研究・市史研究	301
公益財団法人	
会津若松文化振興財団	302
社会体育	305

教育行財政

本市は、4世紀後半のものといわれる東北で最大規模の古墳を有し、更に畿内に比べても遜色のない仏教文化が隆盛を極めるなど、高水準の文化ゾーンであったことでも知られている。特に藩校日新館や稽古堂などの史跡に見られるように、藩政時代の精神も継承され、次代を担う有能な人材育成と豊かな人間形成を目指した教育が社会、地域ぐるみで実践されている。これは、戊辰戦争後の荒廃の中で、浄財による私立中学校が創設されるなど、先人の遺徳に負うところが大きく、教育に傾ける情熱と期待は相当なものがある。

近年、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正がなされ、新教育委員会制度がスタートするなど、教育制度は大きな変革の時代を迎えたが、本市は、先人が築いてきた会津を誇りとした、ぶれることのない教育行政を推進するものである。

重点施策

会津若松市教育委員会では、平成29年4月からの「会津若松市第7次総合計画」にあわせ、本市教育行政の方向性を示す「会津若松市教育大綱・教育振興基本計画」を策定し、目標に掲げる「未来につながるつくり」の実現に向けて、次のとおり施策を定める。

1 学校教育

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 特別支援教育の充実

2 教育環境

- (1) 就学環境の充実
- (2) 学校環境の充実、整備

3 地域による子ども育成

- (1) 子どもと子育て家庭を支える地域づくり
- (2) 青少年の健全育成

4 生涯学習

- (1) 生涯学習活動の支援
- (2) 読書活動の推進
- (3) 地域における社会教育の推進

5 スポーツ

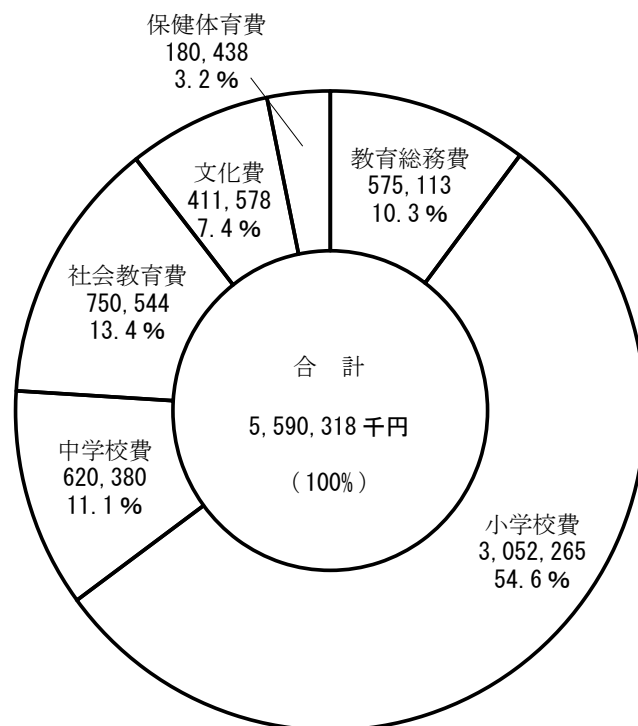
- (1) スポーツ機会の充実
- (2) スポーツ環境の充実

6 歴史・文化

- (1) 地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興
- (2) 地域の歴史・文化を育む環境づくり
- (3) 歴史資源・伝統文化の保存・継承

教育財政

◆令和2年度教育費当初予算額



一般会計と教育費の推移 (決算額)

区分	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	構成比 (%)
2年度	48,559,000	5,590,318	11.5
元年度	47,742,000	4,936,000	10.3
30年度	48,625,000	4,171,401	8.6
29年度	48,687,000	5,424,202	11.1
28年度	46,857,000	4,585,237	9.8
27年度	48,977,000	5,614,978	11.5
26年度	45,945,000	4,452,687	9.7
25年度	44,014,000	3,937,458	8.9
24年度	43,770,000	3,896,607	8.9
23年度	43,743,000	3,696,543	8.5
22年度	44,508,000	5,332,815	12.0

※ 教育費のうち平成26年度からは幼稚園費を含まず。

学校教育

学習指導要領のねらいの実現に向け、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導や体験的・問題解決的な活動の充実などを通して、基礎的・基本的な知識はもとより、学ぶ意欲、判断力、表現力までを含めた「確かな学力」の育成や豊かな人間性を育み「心の教育」の充実をねらいとした取り組みに努める。

さらに、経済・社会のグローバル化が進展する中、国際理解教育の充実や「英語」によるコミュニケー

ション能力の育成、IT化の進展による情報活用能力の育成や、障がいのある子どもの自立・社会参加に向けた特別支援教育の充実、不登校児童生徒の学校復帰をサポートする学習支援・相談業務、更には食育の推進などの取り組みに努める。

また、「幼児教育振興プログラム」に示した幼児教育の基本的な方向性に基つき、全市的な幼児教育の振興を図る。

小中学校等の概要

◆ 小学校

(令和2年5月1日現在)

区分	開校年月	児童数(人)	学級数	教職員数	校舎面積(m ²)	屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)	プール
鶴城小	明治 6年1月	281	15	25	5,905	1,385	16,315	25m×13m=325m ²
城北小	明治39年4月	380	16	24	6,596	907	21,322	25m×10m=250m ²
行仁小	明治 6年3月	273	14	21	3,788	773	11,983	25m×10m=250m ²
城西小	明治 6年4月	560	22	34	5,517	1,219	14,063	25m×13m=325m ²
謹教小	明治 6年	275	14	24	5,937	1,200	17,640	25m×13m=325m ²
日新小	昭和28年4月	348	15	23	5,609	1,241	18,091	25m×13m=325m ²
湊 小	平成11年4月	72	8	15	3,096	911	27,657	25m×13m=325m ²
一箕小	明治 6年5月	672	27	40	6,602	1,182	16,508	25m×13m=325m ²
松長小	平成 2年4月	272	13	20	5,434	1,092	22,978	25m×13m=325m ²
永和小	明治 6年5月	95	7	13	3,316	485	13,155	25m×10m=250m ²
神指小	明治 6年	87	7	16	3,311	973	20,836	25m×13m=325m ²
門田小	明治 6年4月	400	17	24	7,104	1,362	23,357	25m×13m=325m ²
城南小	平成元年4月	369	16	24	4,969	1,092	21,288	25m×13m=325m ²
大戸小	明治 6年4月	47	5	10	3,266	880	21,438	25m×13m=325m ²
東山小	明治 6年4月	271	12	18	3,840	873	21,420	25m×13m=325m ²
小金井小	平成15年4月	586	24	35	6,156	1,183	17,414	25m×13m=325m ²
荒館小	明治6年 5月	240	10	17	4,332	1,033	22,745	25m×13m=325m ²
川南小	明治5年11月	113	6	11	2,470	738	18,334	25m×10m=250m ²
河東学園小	平成19年4月	370	15	23	9,796	1,190	33,402	
計19校		5,711	263	417	97,044	19,719	379,946	

◆ 中学校

(令和2年5月1日現在)

区分	開校年月	生徒数(人)	学級数	教職員数	校舎面積(m ²)	屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)	プール
第一中	昭和22年5月	449	16	33	5,713	1,316	24,763	25m×13m=325m ²
第二中	昭和22年4月	259	9	25	7,489	1,424	26,944	25m×13m=325m ²
第三中	昭和22年5月	317	13	27	6,101	1,318	21,526	25m×13m=325m ²
第四中	昭和22年5月	554	20	42	6,197	1,230	34,856	25m×13m=325m ²
第五中	昭和22年4月	430	15	33	5,515	1,154	24,488	25m×13m=325m ²
第六中	昭和53年4月	89	4	16	2,674	968	23,961	25m×13m=325m ²
湊 中	昭和22年3月	22	5	13	1,902	884	21,424	25m×13m=325m ²
一箕中	昭和22年4月	358	13	26	5,881	1,029	22,927	25m×13m=325m ²
大戸中	昭和22年4月	17	4	11	2,109	900	18,085	25m×13m=325m ²
北会津中	昭和40年4月	199	6	19	4,903	1,341	35,056	25m×13m=325m ²
河東学園中	平成30年4月	203	10	21	4,873	1,509	23,876	
計11校		2,897	115	266	53,357	13,073	277,906	

◆ 幼稚園

(令和2年5月1日現在)

区分	開校年月	園児数(人)	学級数	教職員数	校舎面積(m ²)	屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)	プール
河東第三幼	昭和52年4月1日	12	2	4	479	-	1,423	

◆校舎・屋体非木造率

区分		小学校	中学校	幼稚園	
校舎	非木造	面積(㎡)	96,936	52,348	479
		比率(%)	99.89%	99.52%	100%
	木造	面積(㎡)	108	255	
		比率(%)	0.11%	0.48%	
	計	面積(㎡)	97,044	52,603	479
		比率(%)	100%	100%	100%
屋体	非木造	面積(㎡)	19,719	13,037	-
		比率(%)	100%	100%	-
	木造	面積(㎡)	0	0	-
		比率(%)	0	0	-
	計	面積(㎡)	19,719	13,037	-
		比率(%)	100%	100%	-

教育研究委託事業等

◆小中学校教育研究

- ・本市教育の向上をめざす教育活動として児童作品集の制作等、実践的研究を行う
(幼稚園小中学校教育研究会)

学校給食

◆給食費

区分	1食平均単価	年間徴収金額	実施形態 (1週当たり回数)		
			米飯	パン	麺
幼稚園	260円	45,240円	3.5	0.5	1
小学校	300円	55,500円	3.5	0.5	1
中学校	350円	60,900円	3.5	0.5	1

※ 年間徴収金額は1年間の給食実施回数が幼稚園174回、小学校185回、中学校174回とした場合の金額

◆学校給食施設 (令和2年5月1日現在)

区分	委託	食数	年間回数	
城北小学校	○	404	187	
行仁小学校	○	294	184	
城西小学校	○	594	186	
謹教小学校	○	299	182	
日新小学校		371	190	
一箕小学校	○	712	185	
松長小学校	○	292	184	
神指小学校		103	180	
城南小学校	○	393	187	
東山小学校	○	289	185	
湊地区学校給食センター	湊小 湊中	○	87	187
			35	178
永和地区学校給食センター	永和小 第六中	○	108	188
			105	176
門田地区学校給食センター	門田小 第五中	○	424	190
			463	177
7大戸地区学校給食センター	大戸小 大戸中	○	57	192
			28	176
小金井地区学校給食センター	小金井小 第四中	○	621	187
			596	178
北会津地区学校給食センター	荒舘小 川南小 北会津中	○	257	188
			124	188
			218	185
河東地区学校給食センター	河東三幼 河東学園小 河東中	○	17	174
			393	189
			224	182
会津若松学校給食センター	鶴城小 第一中 第二中 第三中 一箕中	○	306	185
			482	167
			284	172
			344	174
			384	174
計		9,308		

- 1) 委託は調理・洗浄業務の委託
- 2) 食数は児童生徒数、教職員数等の合計
- 3) 年間回数は給食回数の最も多い学年の回数

中学校卒業者の進路状況

(単位:人)

区分		元年度	30年度	29年度
進学者	男	524	551	549
	女	496	501	527
	計	1,020	1,052	1,076
就職者	男	2	1	3
	女	1	0	0
	計	3	1	3
専修学校等 入学者	男	1	0	2
	女	1	1	2
	計	2	1	4
無職者 その他	男	6	4	5
	女	2	3	7
	計	8	7	12
卒業者	男	533	556	559
	女	500	505	536
	計	1,033	1,061	1,095
進学率(%)		98.7	99.2	98.3

※ 進学率は、進学者÷卒業者

学校保健・安全教育

学校教育活動全体を通して保健安全教育活動を展開し、疾病の予防や健康の増進さらには児童、生徒の交通事故防止に努める。

◆日本スポーツ振興センター加入及び給付状況

(令和2年3月31日現在)

区 分	小学校	中学校	計
在 籍 (人)	5,879	2,950	8,829
加入者(人)	5,879	2,949	8,828
加入率(%)	100%	99%	99%
災害件数(件)	192	191	383
災害率(%)	3.2%	6.5%	4.3%
給付金(円)	449,693	851,826	1,301,519

※ 在籍、加入者は令和元年5月1日付の学校基本調査数

※ 災害件数、給付金は平成31年4月1日から令和2年3月31日までの件数及び金額

生涯学習・青少年健全育成

近年は、市民の高学歴化や価値観の多様化が進み、個々のライフスタイルが大きく変化している。また、自由時間の増大の中で生涯学習活動に取り組む方が増えてきている。

本市はこうした市民の生涯学習活動を支援し、様々な学習に関する情報の収集・整理及びその発信・提供に努め、誰もが自由にいきいきと学べる生涯学習社会の実現に取り組むとともに、平成27年度に策定した「生涯学習推進ビジョン」に基づき、地域社会で活躍する人材の育成と活用、学校・家庭・地域の連携、大学等との連携による生涯学習ネットワークの強化、地域コミュニティの活性化等に取り組んでいる。

また、本市は会津藩校日新館創設以来「人こそまちづくりの礎」と考え、子どもたちの教育に力を入れてきた歴史と伝統がある。近年、子どもたちが、家庭や地域の中で社会性を身に付ける機会が減少しており、社会のルールを守ろうという規範意識の低下が懸念されているが、本市では、平成13年度に策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を柱に、青少年の健全育成を進めている。

重点施策の概要

(1) 生涯学習活動の支援

○市民ニーズに応じた生涯学習に関する

情報提供と相談機能の充実

市民が求める生涯学習情報の提供として、関係部局と連携しながら、出前講座の充実を図るとともに「生涯学習相談コーナー」の利用促進に取り組んでいく。

○生涯学習ネットワークの強化

生涯学習総合センター（會津稽古堂）を会場とし、企業や商店街、会津大学や高等学校との連携を図り、市民や学生を対象とする講座の開催を進めていく。

○社会教育を推進する人材の育成と活用

放課後子ども教室や地域学校協働活動など地域におけるボランティアの育成やコーディネーター研修のための学習講座を開催し、地域における生涯学習活動を支援する人材の育成と活用を努める。

○誰もが生涯学習に取り組める環境の整備

利用者の意見や要望などを踏まえ、公民館と図書館、ホール・ギャラリーを備えた複合施設の機能を活かし、より利用しやすく、快適な学習環境を整える。また、施設や設備の耐用年数に応じた計画的な修繕により、ランニングコストの平準化

を図りながら適切な管理運営に努める。

○地域の教育力を活用した子どもたちの

育成支援の充実

児童の放課後の時間を活用した活動拠点（放課後子ども教室）を設け、学校や地域の団体、人材と連携や協力をしながら、地域住民を指導者とした体験学習などを実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。

○学校と地域、家庭との連携・協働

コミュニティ・スクールの導入とともに、公民館が中心となり、学校と地域の団体や人材、家庭との連携を図りながら、子どもたちの登下校の見守りや、学校行事や野外授業の手伝いなど、学校教育の活動を地域で支援していく地域学校協働活動を推進する。また、地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」を配置し、組織的で安定的に継続できる「地域学校協働本部」の立ち上げを進める。

(2) 読書活動の推進

○図書資料等の充実

市民からの要望等に応えながら、魅力ある図書資料等の購入を図り、乳幼児から高齢者までを対象とした図書等の整備に努める。

○図書館サービスの提供

郷土資料や行政資料の収集、貴重資料の保存に努め、丁寧なレファレンス業務に取り組むとともに、郷土資料のデジタル化資料や商用データベース閲覧等の様々なサービスを広報し、図書館サービスの向上に努める。

○読書環境の整備・支援

読み聞かせボランティアや学校図書館ボランティアを養成するとともに、乳幼児から小学生を対象とした読み聞かせ活動を、ボランティアと協働で継続実施するとともに、学校図書館整備についても支援していく。

○地域や家庭における読書の推進

第2次子ども読書活動推進計画に基づき、家庭を中心とし、学校、ボランティア団体等の連携のもと、子どもの読書活動の推進に取り組む。

(3) 地域における社会教育の推進

○公民館を拠点とした社会活動への

住民参加と地域づくり

いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができるような公民館の運営に努め、公民館と地域住民が

ともに事業を作り上げていく、住民参加型の事業を展開するなど社会教育を推進する。

○社会教育施設の充実と環境整備

利用者が安全に安心して利用できるよう、施設の適正な維持管理に努めるとともに、老朽化が進む公民館においては施設、設備を計画的に改修するなど、利用者が活動しやすい環境を整備する。

(4) 青少年の健全育成

○會津藩校日新館の教えである「ならぬことはならぬ」に代表される会津の精神を踏まえて策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を青少年健全育成の柱とし、地域ぐるみで青少年を育みます。

○少年の非行防止

少年の非行防止等に関する総合的な実践活動を推進するため、少年センターを拠点とし「愛の一声」等による街頭補導や見せる補導として活動する「あいづっこ青色パトロール」、さらに社会環境浄化活動等を通して、少年の非行防止や青少年の健全育成活動を進めていきます。

○青少年関係団体の活性化

心豊かで創造性にあふれ、自分自身を大切にするとともに、社会規範を守り他者の立場に立って考え行動できる青少年を育成するために、家庭、学校、地域と連携し、「青少年育成市民会議」や「子ども会育成会」等の青少年関係団体の活動を支援し、活性化を図りながら青少年の健全育成を推進します。

生涯学習関連施設及び関係団体

【社会教育施設】

生涯学習総合センター（中央公民館・会津図書館を含む）、地区公民館（北、南、大戸、一箕、東、湊、北会津、河東、神指分館）、少年の家、子どもの森

【社会体育施設】

体育館（あいづ総合、鶴ヶ城、ふれあい体育館、河東総合、各学校）、グラウンド（陸上競技場、各学校、河川敷）、その他（会津総合運動公園内各施設、鶴ヶ城公園内各施設、冒険の森、小松原運動場、河東弓道場、河東野球場、河東テニスコート、コミュニティプール等）

【文化教養施設】

會津風雅堂、文化センター、会津能楽堂、史跡

若松城跡及び茶室「麟閣」、町方伝承館、名勝会津松平氏庭園、歴史資料センター「まなべこ」

【その他】

コミュニティー施設（行仁、日新、城北、城西、松長、真宮、鶴城、城南、謹教）、勤労青少年ホーム、基幹集落センター

◆社会教育関係団体

区 分		団体数
青少年団体	地区子ども会	277
	スポーツ少年団	62
	レクリエーション関係	1
成人団体	公民館登録団体	414
	小・中学校父母と教師の会	32
	ユネスコ関係	1
各種体育・レクリエーション関係 (市体育協会加盟団体)		53
各種芸術・文化関係 (文連協加盟団体)		48

生涯学習の重点事業

◆子どもと子育て家庭を支える地域づくり

- ・地域学校協働本部事業（放課後子ども教室、地域学校協働活動）

◆生涯学習活動の支援

- ・會津稽古堂・まちづくり会津協働事業
- ・高・大・社連携事業
- ・生涯学習支援者養成事業
- ・生涯学習情報の提供事業
- ・生涯学習総合センター管理運営事業

◆読書活動の推進

- ・図書資料等整備事業
- ・読書活動推進事業
- ・読み聞かせ・学校図書館ボランティア養成・活用事業
- ・学校図書館支援事業
- ・子ども読書活動推進事業（ビブリオバトル、会津図書館を使った調べる学習コンクール）
- ・雑誌スポンサー制度事業

◆地域における社会教育の推進

- ・住民参画による公民館事業
- ・公民館の管理運営事業

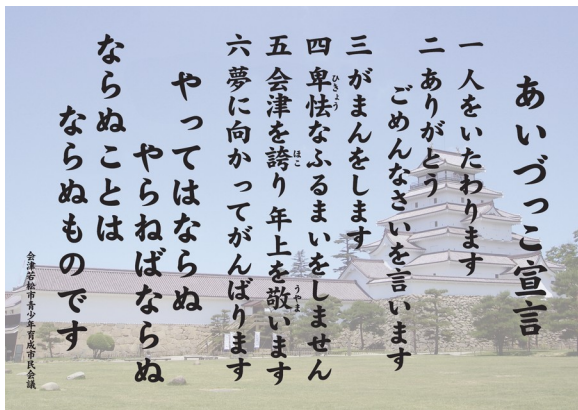
青少年健全育成の重点事業

◆少年の非行防止

- ・少年センター運営事業

◆青少年関係団体の活性化

- ・青少年の心を育てる市民行動プラン事業
- ・青少年健全育成事業



生涯学習総合センター・地区公民館

生涯学習総合センター【會津稽古堂】 (中央公民館・会津図書館)

◆生涯学習総合センター

- ・所在地 栄町3-50
- ・施設延面積 9,365㎡
- ・竣工 平成23年1月
- ・主な施設 多目的ホール、市民ギャラリー
音楽スタジオ、健康スタジオ
クッキングスタジオ
美術工芸スタジオ
研修室7室、和室、茶室
会津図書館

◆子どもの森

四季をとおして自然観察や体験学習ができる施設である。

- ・所在地 門田町大字黒岩字花見ヶ丘421-1
- ・施設延面積 101,384㎡
- ・開設 昭和53年11月
- ・主な施設 炊事場、トイレ
休憩所(事前予約)

◆主催事業(令和2年度)

【教養コース 青少年】

- 図書館を使った調べる学習体験講座(7月)
「会津図書館を使った調べる学習コンクール」
の応募に向けて、本を使った調べ方やまとめ方を具体的に指導・支援する。
- 地域学校協働活動
「第三中学校区地域学校協働活動」
「第四中学校区地域学校協働活動」
学校からの要請に応じ、地域で学校を支援するとともに、学校は地域への還元を行うことで学校を核とした地域づくりを目指す。
- 放課後子ども教室
「あいづっ子1455」(7月～1月)
「城西っ子1455」(8月～12月)
放課後の時間を活用し、公民館や学校等で、小学生を対象に、地域住民を指導者とした体験学習などを実施し、地域ぐるみで子育てを支援することにより、子どもの健全育成を図る。
- 中高生向けバンド講座(1月)
音楽スタジオにある楽器や機材の正しい使い方などの基礎知識を身につけ、音楽テクニックの向上を目指す初心者向けの講座。
- 子どもの森活用事業

ニュースポーツを楽しもう！(10月)

子どもの森の自然を生かして、親子で楽しめる「ニュースポーツ」を体験し、子どもの森の活用方法についての周知と利用促進を図る。

- 會津稽古堂・あいづ思春期サポーターの会協働事業「ピア・スペース」(6月～3月)
民間団体「あいづ思春期サポーターの会」との協働事業として、子どもたちの悩みに対し、医師・元教諭、大学生、市職員等が助言を行い、官民協働で子どもたちの健全育成を支援する。
- 親子で学ぶ「インターネットとプログラミング体験講座」(9月)
情報機器の基礎となる初歩的なプログラミングを子どものレベルに合わせて初級者コースと応用コースに分けて学習する。あわせて、情報の選択方法やコンピュータウイルスの仕組みを学習し、メディアリテラシーや情報機器との付き合い方を学ぶ。

【教養コース 家庭教育】

- 家庭教育講座(10月～11月)
就学时健康診断の保護者の待機時間を活用し、親の心構えや子どものしつけ等に関する講座を実施し、家庭教育の充実を図る。
- 子育て応援講座(P T A研修会)(8月～11月)
生涯学習の視点に立ち、地域の教育力を高めるためのP T A活動や子どもたちの健全な成長について学習する。
また、研修をとおして各P T A間の交流を図り、新しいネットワーク作りを進める。

【教養コース 成人】

- 地域活動を始めよう～地域で子どもたちを支える取組編～(10月～12月)
地域で子どもを見守る取り組みを進めるため、長年培ってきた知識・経験・技能を活かしながら活動するきっかけづくりを行う。
- はじめての古文書(11月)
初めて古文書に触れる方を対象に、古文書に親しんでいただくとともに、古文書への興味・関心を喚起する。
- 古文書講座～中級編～(7月～10月)
古文書読解の中級レベルの知識を学ぶことにより、古文書への造詣を深め、解読者の養成を図るとともに図書館利用の拡大を図る。
- 会津大学・會津稽古堂連携事業(10月 他)
会津大学の公開講座と連携し、ICTや哲学、経済など大学の講義を一般市民向けに開催する。
- 會津稽古堂・まちづくり会津協働事業「つるし

雛」(10月～2月)

地域商店街との幅広いネットワークを持つ株式会社まちづくり会津と連携し、商店街の協力を得ながら講座や展示会を開催していくことで、まちなかの活性化を進める。

○漆蒔絵教室(8月～3月)

本市の伝統工芸のひとつである漆・蒔絵を理論的・実践的に学ぶことにより、伝統産業への理解を深め、伝統の技の継承を図る。

○家庭教育コーディネーター研修会(8月～3月)

地域の家庭教育を推進するため、家庭教育に関心のある市民や、家庭教育インストラクターの知識を向上させる。

○学校図書館ボランティア養成講座(11月)

学校図書館の活性化を図るため、学校ボランティアを対象に、図書館運営の実務を学ぶ。

○ちょっとだけ1up!～ライフ・デザイン・プロジェクト～(11月～3月)

仕事帰りの方が多い平日夜間の時間を活用し、少しだけ今の生活が楽しく豊かになる体験や仲間づくりを行う。

【専門コース】

○生涯学習支援者講座(10月～1月)

生涯学習について、様々な角度から学び、理論およびノウハウを習得する。

○生涯学習おもしろくらぶ(6月～3月)

生涯学習支援者講座修了生を中心に、主体的で対話的な学習活動の創造及びコーディネートに関する実践的な学習活動を行う。

○コーディネーター研修会(4月～3月)

地域学校協働本部事業(放課後子ども教室、地域学校協働活動)に携わる地域学校協働活動推進員(コーディネーター)や公民館職員間の情報共有を行い、地域教育力を高めるための支援技術を学習し、資質向上を図る。

○高・大・社連携事業

「みらい探究ラボ」(6月～2月)

高校・大学・社会教育が連携し、高校生の自主的な探究学習を支援する。地域の教育資源の活用方法を紹介し、課題を解決する資質と能力の育成を図る。

【成果発表・体験コース】

○會津稽古堂まつり(9月)

會津稽古堂を拠点として活動している様々な学習団体が集い、日頃の活動成果の発表や団体間の交流を図る。(新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。)

○會津稽古堂展示グループ「つなぐ展」(9月)

會津稽古堂まつりの代わりとして、會津稽古堂を拠点として活動している有志の団体により、展示会を開催する。

○會津図書館を使った調べる学習コンクール(11月)表彰式

図書館の資料を活用した「調べる学習」に取り組み、主体的に学ぼうとする意欲を醸成するとともに、情報を活用する力を養成する。

○會津ビブリオバトル(知的書評合戦)(11月)

読書によって得られた本との出会いや魅力、その本を読んで感じた思いなどについて発表することで、読書活動の充実と論理的思考力・表現力等を育むとともに、プレゼンテーション能力の向上を図る。

○たのしい冬のおはなし会(12月)

絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等で本に親しむきっかけづくりをする。

○たのしい春のおはなし会(3月)

絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等で本に親しむきっかけづくりをする。

○外国語のおはなしのへや(2月)

外国語の絵本の読み聞かせ、ゲーム等で本に親しむきっかけづくりをする。

○おはなし会(毎週日曜日)

絵本の読み聞かせ、紙芝居等で本に親しむきっかけづくりをする。

○ブックスタート事業(年間)

健康福祉部と連携し、4か月健診会場において、読み聞かせを実施しながら絵本を手渡し、子育てにおける読み聞かせの大切さを保護者に伝える。

○赤ちゃんおはなし会(毎月第1・3木曜日)

絵本の読み聞かせを行うとともに、子育てにおける絵本の読み聞かせの大切さや楽しさを伝える。

○英語のおはなし会

(4・8・10・12月の第1日曜日)

外国語(特に英語)の絵本の読み聞かせを行い、本に親しむきっかけづくりをする。

○おはなしのもり(毎月第3土曜日、最終木曜日)

絵本の読み聞かせや、手遊びなどを行い、本を開くきっかけづくりをする。

○かたりべ会(毎月第2・4土曜日)

民話や伝説の昔語りを通じて、本に親しむきっかけづくりをする。

○本の夜会(7・11月)

中学生以上を対象とした読書イベントを閉館後の図書館内で開催し、日中の来館が困難な利用者へのPRを行うとともに、読書意欲の喚起

と図書館利用を促進する。

【学習情報提供】

○ライブリックシアター（6月～3月）

図書館所蔵の映像資料の上映会を行い、芸術文化作品の鑑賞の機会を提供する。また、8月には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた周辺商店街に人を呼び込むため、上映会を5日間連続で実施する。

○生涯学習情報誌発行

各公民館の情報を集めた公民館だより「郭公」や図書館だよりの発行。

○生涯学習指導者情報提供

市民の幅広い生涯学習のニーズに対応するため知識や技術を持った指導者を登録・紹介する。

○生涯学習出前講座

市職員を講師として派遣し、市政や制度等について、講義・説明を行い、行政や政策についての理解と関心を深める。

○地域教育コーディネーター事業

地域の生涯学習活動における学習相談や講師紹介依頼などへの対応など、生涯学習活動に対する支援などを行う。

○會津稽古堂ツアー

小中学生を中心とした団体に対して、生涯学習総合センターの設置の目的や利用方法について解説する。

◆入館者数

区 分	元年度	30年度	29年度
生涯学習総合センター	532, 121	559, 645	558, 219
会津図書館	290, 358	292, 359	287, 280

◆利用状況

区 分	元年度	30年度	29年度	
中央公民館	回数	7, 712	7, 878	7, 971
	人数	90, 582	94, 194	94, 908
多目的ホール 市民ギャラリー	回数	633	646	639
	人数	43, 046	47, 976	47, 201

【会津図書館の沿革】

会津図書館は、明治36年7月10日に、文部省から設立認可を受け、翌37年2月11日、栄町旧馬場口に、若松市立会津図書館として開館した、日本の市立図書館第一号である。

開館当時の蔵書はわずかに4,039冊であった。以来、時代に相応した新しい図書館像をめざして、増改築や移転、図書の収集を行ってきた。

館外貸出を開始したのは、昭和29年4月で、現在の名称「会津若松市立会津図書館」は、昭和30年の町村合併によって改称されたものである。

「動く図書館」として、広く市民に親しまれている移動図書館車は、昭和25年10月運行を開始し、翌年から定期運行され、昭和37年からは「あいづね」号とした専用車による運行が開始された。

昭和44年7月、城東町に移転新築し、昭和46年10月に、日曜開館を行った。

また、平成7年4月1日より、本館及び移動図書館において電算が本稼働となり、利用拡大を図るため、平成8年4月1日より館外貸出対象者を会津全域に広げている。

平成16年には開館百年を迎え、10月に記念式典を挙行し、「会津図書館郷土資料総合目録」を刊行した。

平成22年11月1日より移転準備のため休館し、平成23年4月から新たに生涯学習総合センター2階に開館し、開館日・開館時間を大幅に拡大した。これにより、カウンター業務の貸出・返却等及び移動図書館運行の民間委託を開始した。

また、ICタグを導入してバーコード管理からIC管理とし、自動貸出機及びBDS（貸出手続き確認装置）を設置した。

平成24年6月から、移動図書館「あいづね号」を更新し、5代目車両を運行している。

平成28年度には、図書館システムの更新及び機器の入れ替えを実施し、安定したサービスを提供しており、平成30年1月からは、雑誌スポンサー制度を導入し市民サービスの拡充を図っている。

【概要】

◆一般図書フロアー（913㎡）

郷土・行政資料、視聴覚、新聞・雑誌、インターネットなどの各種コーナーとともに、中高生を対象としたティーンズコーナーを設置。閲覧・学習席数126席

◆こどもとしょかん（390㎡）

書架の高さを低くし、親子ブースを設け、おはなしのへやコーナーを独立させ、インターネットも設置。閲覧・学習席数69席

◆学習スペース

自主学習のための独立した学習スペース35席設置。

【利用案内】

◆開館時間 月～土 午前9時～午後7時
日・祝日 午前9時～午後6時

◆休館日 年末年始 12月29日～1月3日

館内整備 月1日程度
 特別整理 年7日程度

- ◆館内閲覧 自由閲覧
- ◆館外利用 会津若松市に在住・通勤・通学する者
会津地域に在住の者
- ◆貸出冊数 図書8冊まで、視聴覚資料2点まで
貸出期間 15日間
- ◆各種サービス
 - ①予約サービス
 - ②レファレンスサービス
 - ③複写サービス
 - ④リクエストサービス
 - ⑤視聴覚資料の視聴利用
 - ⑥インターネット用パソコンの利用
 - ⑦持込パソコン席用コンセントの利用
 - ⑧デジタルデータの閲覧
 - ⑨商用データベースの閲覧
 - ⑩国立国会図書館デジタル化資料の閲覧・複写
 - ⑪ナクソス・ミュージック・ライブラリーの貸出
 - ⑫グループ読書室の利用
 - ⑬視覚障がい者等サービス（録音CDの貸出・対面朗読等）

◆移動図書館

主に市内周辺部、団地、周辺小学校の市民の方々を対象に、12コースに54ステーションを設置し、降雪期の1月・2月を除く火～金曜日と日曜日に運行している。

◆団体貸出

市内に所在する小・中学校、高等学校その他の教育機関、官公署、社会教育関係団体、社会福祉関係団体、読書会その他館長の認める団体に、1回100冊以内の図書を3か月間貸出している。

◆視聴覚機材・教材の貸出

所有する16mm映写機・プロジェクター・スクリーン・16mmフィルム・ビデオ・DVD等を社会教育関係団体の要望に応じて貸出している。

【統計】

◆令和元年度末蔵書冊数

本館 300,811冊
 ※雑誌150誌、新聞31紙
 移動図書館 27,352冊
 公民館図書室 47,615冊

◆令和元年度利用状況

区分		新規登録者数 (人)	貸出冊数 (冊)
本館	一般	1,170	360,614
	学生	191	15,708
	児童	698	94,097
	小計	2,059	470,419
移動図書館	一般	47	13,440
	児童	98	7,010
	小計	145	20,450
団体貸出(団体)		3	838

中央公民館神指分館

〈建築延面積〉 290.23㎡
 〈竣工〉 昭和52年10月
 〈主な施設〉 会議室、日本間、談話室、事務室

◆主な事業（令和2年度）

【青少年教育】

- 放課後子ども教室「こうざしっ子」（8月～11月）
昔遊び、レクリエーションなどを放課後に学校の教室で楽しみます。

【成人教育】

- 歴史おもしろ塾（7月～10月）
会津には、あまり知られていない史実が数多くあります。本講座をとおして、活躍した会津の先人の歩みにふれてみます。
- 自然探訪講座（6月）
自然の中を散策しながら、様々な植物や自然の不思議にふれてみます。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）
- ふれあい大人塾（6月～11月）
健康づくりや移動学習など、様々な体験学習をとおして参加者どおしの交流を深めます。
- そば打ち体験教室（11月）
初心者が対象の講座です。そば粉10割で作る自前のそばを味わいます。
- 自ビール作り体験教室（7月）
手作りで自分だけのビールを作ります。

【その他】

- 第36回神指地区文化祭（共催事業・11月）
地域住民の日頃の学習成果や発表の場を作り、もって地域住民と公民館利用者相互の協働による地域づくりの機会とします。（新型コロナウイルス

ス感染予防のため、中止となりました。)

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	766	766	784
	人数	7,784	8,193	7,847
図 書	人数	24	35	18
	冊数	40	73	38

北公民館

〈敷地面積〉 3,124.45㎡
 〈建築延面積〉 894.84㎡
 〈竣工〉 昭和55年2月20日
 〈主な施設〉 1階 会議室、日本間、図書コーナー
 ロビー、事務室
 2階 会議室、調理室、視聴覚室

◆主な事業（令和2年度）

【青少年教育】

○放課後子ども教室「永和いなほキッズ」
 (8月～11月)

放課後、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが、地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりを推進する。

【家庭教育】

○週末親子チャレンジ（6月～1月）
 親子がふれあいながら自然体験や創作活動など多彩な活動を通して、人とのかかわりや大切さを身に付けてもらう。

【成人教育】

○永和ものづくり楽校（7月～12月）
 古くから伝わる庶民の知恵が、今も地域に残っている。会津若松市及び永和地区に長年伝わってきた伝統行事や習俗及びそれにまつわる食をはじめとする生活文化について、その技術を学びながら理解を深める。

○永和の暮らしと歴史（4月～3月）
 永和地区の人々の暮らしと歴史を学習・調査・研究し、その成果を書籍等の記録として刊行することにより、地区住民ほか学習の一助とする。

する。

- 種からはじめるほうきづくり（5月～10月）
 材料となる「ほうきもろこし」の栽培から、ほうきの製作まですべての工程を体験することにより、伝統工芸を肌で感じる。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）
- アクションレディース（6月～12月）
 社会情勢の変化に対応した女性の生き方を学び、相互研修により生活能力の幅を広げる。
- いなほふれあい学級（6月～11月）
 高齢者として明るく楽しい豊かな人生を過ごすため、健康維持と学習意欲を高める。
- 町北高齢者学級（6月～12月）
 生きがいをもって、地域社会活動に参加できるよう心身ともに健康な高齢者を目指す。

【その他】

- 第41回北地区文化祭（共催事業10月～11月）
 住民の自主的な文化活動の活性化と、北地区の風土に根ざした文化の振興を図ることを目的とする。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）
- ロビー展（4月～3月）
 北地区在住ゆかりの作家やサークルの協力を得て開催し、成果発表の場と広く一般市民に鑑賞の機会を提供する。
- 民話口演会「第19回語る蕎麦から福きたる」
 (共催事業12月)
 「語り部養成講座」を修了した民話三団体が日頃の学習成果を発表する。併せて地元のそばを食べ、講師の口演を聴き、広く一般への学習の機会を提供する。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）
- クリスマスコンサート（12月）
 クリスマスの季節に合わせ、北公民館登録団体によるボランティアコンサートを開催し、地域住民の方々に音楽鑑賞の機会を提供する。
- 永和地区地域づくり協議会（通年）
 永和地区の身近な課題について一緒に考え、協働による解決に向けた取組を検討する。
- 広報活動
 広報誌「北公民館だより」の発行や市ホームページでの情報発信により、地域内の情報の共有化及び交流を図る。
- 地域支援事業
 各種団体が、地域で実施してきた活動に対して、公民館が支援することにより、広く生涯学習による地域づくりを目指す。

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	1,612	1,592	1,527
	人数	23,146	22,249	22,791
図 書	人数	397	383	332
	冊数	1,070	1,036	789

南公民館

〈敷地面積〉	3,270.48㎡
〈建築延面積〉	1,026.96㎡
〈竣工〉	昭和56年3月20日
〈主な施設〉	1階 会議室1・2、日本間1・2 託児室、図書室、ロビー 2階 会議室3・4、視聴覚室、調理室

◆主な事業（令和2年度）

【青少年教育】

○小法師の学び舎（5月～12月）

国際交流体験や宿泊体験、創作活動など様々な体験を通して、青少年に何事にもチャレンジする冒険心や知的好奇心、克己心を育みながら生きる力を養うとともに子供たちの交流を図る。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）

○放課後子ども教室「南チャレンジキッズ」

（6月～12月）

放課後に公民館を活用し、地域の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流等を通して、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行う。

【成人教育】

○ふれあい学級（6月～12月）

健康で生きがいのある生活を送るため、幅広い年代層の方々との活動をとおして、余暇時間を楽しみ、活動で作成した作品の展示や成果発表などにより、積極的な社会参加を図る。

○家庭菜園の時間（6月～11月）

プランターや自宅の庭などでも出来る野菜作りを実践する。野菜の種まき・苗植えから収穫まで、野菜作りのノウハウを体験するとともに、受講生同士の情報交換などにより親睦を図る。

○門田町再発見（9月）

門田町の歴史に触れながら寺院等を訪ねたり、

地域の工場を見学することで、住み慣れた町の良さを再発見し、歴史や文化などの恵まれた地域資産を学ぶ。

【その他】

○よろずお楽しみ会（7月～3月）

地域住民同士がお茶を飲みながら気軽に語り合い、軽い運動やレクリエーションなどの活動を通して交流を図る場を提供する。

○地域支援事業（6月～3月）

高齢者交通安全教室、学校を含む緑化・環境美化活動、小学生への昔遊び指導など、地域の各種団体と住民及び学校との連携をコーディネートする。（新型コロナウイルス感染予防のため、一部中止となりました。）

○第13回青木山の山開き（共催事業・4月29日）

里山である青木山山開きに参加することにより、心身の健康づくりと自然に親しみながら交流を図る。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）

○第3回もんだ横丁夏祭り（共催事業・7月18日）

地区の子供達の健全育成と世代間の交流、子供会の会員拡大を図るため、縁日やおみこしなどを行い、地域の親睦の輪を広げる。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）

○第63回門田地区大運動会（共催事業・8月23日）

地区住民の心身の健康づくりや運動能力の伸長と参加者相互の交流を図る。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）

○第40回門田地区文化祭（共催事業・11月8日）

地区の自主的な文化活動の活性化を図り、個性豊かな文化の創造と発展に寄与するとともに、地区住民へ学習成果の発表と鑑賞の機会を提供する。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	1,842	1,951	2,032
	人数	25,997	29,100	31,709
図 書	人数	816	924	935
	冊数	2,537	2,920	2,952

大戸公民館

〈敷地面積〉	2,985.00㎡
〈建築延面積〉	1,001.96㎡
〈竣工〉	昭和60年3月25日
〈主な施設〉	1階 講堂、会議室、ロビー 2階 講義室2室、和室2室、調理室

◆主な事業（令和2年度）

【青少年教育】

- 大戸地域学校協働活動（通年）
学校と地域の協働により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。
- おおとっ子1455（放課後子ども教室）（6月～10月）
放課後等に地域住民の指導と見守りのもと、学習・文化・スポーツ活動等を行う。
- わらべ塾（5月～12月）小学生対象
さまざまな体験や活動を通し、子どもたちの見聞を広めるとともに、自分で考える力を養う。

【家庭教育】

- 家庭教育講演会（6月）
子育てに関する、地域社会や親子関係について考え行動する情報の提供を行う。PTAと共催。

【成人教育】

- 生きがい講座（5月～12月）
高齢期や高齢準備期における様々な問題について学習や体験を通して理解を深める。
- おいしく食育料理教室（6月～11月）
地域の郷土料理や旬の食材を使った栄養バランスのとれた健康料理など、食に関する知識を深め、食生活を見直すことで健康や心豊かな生活をめざす。
- 通信俳句講座（5月～3月）
通信教育で俳句を詠む力や知識の向上を図り、吟行会や勉強会により相互交流を行なう。
- 大戸お元気倶楽部（6月～9月）
高齢者が気軽に集い、気軽に体を動かせる場を提供し、相互の交流を図る。
- やろっこめろっこ会（4月～3月）
75歳以上の高齢者を対象に、軽運動や体験学習等とおして親睦を図る。
- 介護予防教室
高齢期や高齢準備期の方を対象に介護予防を目的とした様々な講座を行う。

【その他】

- 大戸の歴史講座（7月～11月）
大戸地区や会津に関係する歴史と文化に対す

る認識を深める。

- 大戸町レクリエーション大会開催（9月）
地域住民の健康づくりと交流促進を目的として開催する軽スポーツレクリエーション大会。
- 広報紙「大戸岳」の発行
毎月1日、大戸公民館の学習講座の募集や地域のさまざまな情報、各種機関・団体の予定等を掲載する。

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	592	580	564
	人数	7,697	7,097	7,168
図書	人数	8,070	93	106
	冊数	225	190	270

一箕公民館

〈敷地面積〉	3,503.00㎡
〈建築延面積〉	1,102.95㎡
〈竣工〉	昭和62年3月20日
〈主な施設〉	1階 会議室（仕切り可能）、児童室、図書室、ロビー 2階 講義室（仕切り可能）、日本間（仕切り可能）、会議室、調理室

◆主な事業（令和2年度）

【青少年教育】

- げんき塾（5月～12月）
学年の枠をこえた仲間づくりと、さまざまな体験活動を中心とした学習をする。（新型コロナウイルス感染予防のため、5月～8月は中止となりました。）
- 放課後子ども教室「まつながっ子1455」（6月～11月）
放課後に、地域の人たちの参画を得て、スポーツ、文化活動、交流活動等の取り組みを通じて、子どもたちの居場所を提供し、地域ぐるみでの子育てを推進する。（新型コロナウイルス感染予防のため、6月～8月は中止となりました。）
- 一箕地域学校協働活動（4月～3月）
地域と学校の連携・協働により、地域全体で子どもたちの学びと成長を支えるとともに、地域のコミュニティを活性化する。

【成人教育】

- わたし塾（5月～12月）

文化活動や体験活動を通して、趣味や仲間づくりの機会を提供する。さらには若い人や子育て世代と先輩世代との交流ができることにより、新しいつながりができることを期待する。(新型コロナウイルス感染予防のため、5月～7月は中止となりました。)

○一箕シルバー大学 (5月～12月)

高齢者が健康維持のための学習や生活を豊かにする教養・趣味を身につける活動をおして、生きがいのある生活を送ることを目指す。(新型コロナウイルス感染予防のため、5月～7月は中止となりました。)

【その他】

○地域交流 優志会 (地域交流事業)

地域住民や団体の協働により、介護者や障がい者等への理解を深め合い、支援者が地域の抱える課題等に自ら向き合い、解決に向けて取り組むことができる仕組みづくりを目指す。

○行け！メンズ倶楽部 (地域交流事業)

地域住民との協働により、介護者や障がい者等がサロンや軽運動を通じて交流を深める。

○第39回一箕地区文化祭 (共催事業・10月)

地区住民の文化活動を奨励し、広く参加と鑑賞の機会を提供する。(新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。)

東チャレンジクラブ (9月～11月)

放課後に子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

【成人教育】

○男のこだわり太極拳 (6月～7月)

専門家による指導により、太極拳の基礎を学びゆったりとした動きの中で気血の通る健康な体づくりを目的とする。

○郷土史教室 (6月～10月)

会津を中心とした郷土の歴史について学ぶ。

○東いきいき教室 (6月～10月)

健康に関する学習や、生活に役立つ情報を提供し、いきいきと生活するための秘訣を見いだしてもらう。

○クラフト教室 (6月～7月)

環境にやさしいリサイクルクラフトテープを使ってかご作りをする。

○地域づくり教室 (7月～3月)

地域住民と公民館の協働により、地域が抱える課題を住民自らが解決に向け取り組むことができるしくみの構築をめざす。

○地区名人の発掘

公民館事業等の講師として協力願える地区の名人・達人を発掘し、地域住民の生きがいつくりにつなげるための取り組み。

○地域交流館～ひがしカフェ～ (6月～3月)

地域住民の方々との協働により作りあげた事業で、お茶会による交流を通して、地域コミュニケーションの活性化を図る。

【その他】

○第32回東山地区文化祭

(10月31日・11月1日)

地区住民の自発的な文化活動の活性化を図り、豊かな文化の創造と発展に寄与するため、地区住民の活動を広く展示、披露する機会として開催する。(新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。)

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	1,647	1,774	1,618
	人数	16,298	18,202	16,157
図 書	人数	1,130	1,304	1,309
	冊数	3,071	3,586	3,703

東公民館

〈敷地面積〉 2,203.91㎡

〈建築延面積〉 929.90㎡

〈竣工〉 昭和63年3月19日

〈主な施設〉 1階 会議室1・2(仕切り可能)、日本間1・2(仕切り可能)、図書コーナー、囲炉裏端コーナー
2階 会議室3、講義室1・2(仕切り可能)、調理室

◆主な事業 (令和2年度)

【青少年教育】

○放課後子ども教室

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	2,135	2,243	2,248
	人数	26,238	26,104	24,907
図 書	人数	741	704	829
	冊数	1,030	1,064	1,304

湊公民館

〈敷地面積〉	1,984.00㎡
〈建築延面積〉	548.75㎡
〈竣工〉	平成12年10月30日
〈主な施設〉	会議室・視聴覚室(仕切り可能)、 図書室、地域づくり担い手室、 学習情報相談室

◆主な事業 (令和2年度)

【青少年教育】

- 湊★わんぱく教室 (8月～2月)
体験学習をとおし、自主性・積極性・奉仕の精神を養い、元気でたくましい子どもを育む。
- 読み聞かせタイム(6月～2月)
かたりべの会をはじめとした地域の方々が、昔話や読み聞かせなどの活動を行い、子どもたちが地域に誇りを持ち、豊かな心を育てることを目指す。
- 地域学校協働活動(4月～3月)
地域全体で学校を支援し支えることで、学校が子どもたちに向き合うことに集中できる環境づくりと、参加するボランティアの方々の社会に貢献する喜びにつなげることを目指す。
- 放課後子ども教室
「みなとっ子1455」(9月～2月)
放課後の時間に子どもたちと地域住民が活動することで、地域のきずなづくりと児童の健全育成の支援を目指す。

【成人教育】

- 湊みのりの大学(6月～2月)
明るく楽しい豊かな人生を送るため、健康な身体づくりと生きがいを求めながら相互の交流を図る。
- 子育て・孫育て教室 in MINATO (5月～12月)
子どもたちの健やかな成長のため、学校・家庭・地域が一丸となって、子育て・孫育てについて学び、地域全体の教育力の向上を目指す。
- 湊なごみの広場 (6月～2月)
手軽にできる趣味の講座等を通して、地域における女性のつながりづくりを目指す。
- 在宅ふれあい通信講座 (5月～2月)
遠方に在住や身体の都合などで、公民館に行き来できない方にも参加できる講座で、手紙・ハガキのやり取りで心のふれあいと交流を深める。

【その他】

- 学習情報提供相談事業「よろず湊屋」

- 地区の高齢者団体、団塊の世代グループ、サークル等からの相談に応じて講座を開催する。
- 広報紙「湊のくに」発行
月1回、講座の募集情報及び実施結果や地域情報、各団体の予定等を掲載する。
- 湊地域交流再発見事業(農閑期に実施予定)
地域文化や歴史や自然を活かしながら、他所との交流・住民の相互交流を深め、湊町の新たな産物の発見につなげる。
- サギソウ植栽講習会(4月)
湊町の花である「サギソウ」について町内外の方々に理解していただくため、4月に植栽講習会、8月の開花の時期に展示会を開催し、サギソウに触れ親しむとともに、自然保護に関する意識の高揚を図る。(新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。)
- 湊町文化祭(共催事業・11月)
住民の自発的な文化活動の活性化と個性豊かな文化の創造と発展に寄与する。(新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。)

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	590	516	671
	人数	6,894	7,104	8,228
図書	人数	340	283	275
	冊数	859	810	782

北会津公民館

〈敷地面積〉	3,345.00㎡
〈建築延面積〉	1,119.31㎡
〈竣工〉	昭和46年10月1日
〈主な施設〉	1階 大広間、和室、調理室 談話室(図書コーナー)、ロビー 2階 大ホール、研修室、ロビー

◆主な事業 (令和2年度)

【青少年・家庭教育】

- わんぱく教室(7月～12月)
地域内外で小学生が様々な活動をとおして地域の良さや魅力を再発見するとともに、健全な発育と親子のコミュニケーションの場を提供する。
- 青年教室「パズル」(7月～2月)
地域の青年に対しての活動提供。実行委員を

募集し、ふるさと興しのリーダー養成。

○放課後子ども教室

「あらたてわんぱく遊び隊」(6月～11月)

「かわなみわんぱく遊び隊」(6月～11月)

放課後に地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む。

○親子ふれあい活動「ぴかりん子育てクラブ」(7月～12月)

就学前の子どもと保護者同士のふれあいと情報交流の場を設け、子育て活動を支援する。

○公民館プラレール運転会(12月)

児童生徒、園児たち、成人を含めた交流の場を提供し、冬期間の活動機会を確保する。

【成人教育】

○ことぶき大学(9月～12月)

自らの生活を管理しながら新しい知識を身につけ、自分の体験・経験を地域に還元することで「生きがい」を実感できるよう学習する。

○初心者スマホ入門教室(7月～8月)

主に高齢者を対象として安全で便利な使い方について学習する。

○まるごと体験工房(7月～12月)

地域団体とのタイアップにより、体験活動を通じて、地域の住民とまちの人達との地域間交流をおこなう。

○げんきに健康教室(9月～2月)

地域住民の健康・体力づくり。高齢者に配慮し送迎バスの利活用も含め地域の活性化を図る。

【その他】

○アナログ音楽を聴こう(7月～2月)

レコードやカセットテープ等の音源と、CD等の音源を聞き比べ、各音源の良さを再発見し、音楽に親しむ機会の提供、その時代を振り返る。

○テニス教室(7月～11月)

硬式テニスの技術習得、日頃の運動不足解消。

○磐梯登山(6月)

登山による心身のリフレッシュ、参加者同士の親睦を図る。(新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。)

○地域ふれあい公民館「巡回公民館」(4月～3月)

地域コミュニティにおける参加者同士の交流を目的に、集落の集会施設に出向き活動機会を提供する。

○北会津公民館お茶の間ひろば(7月～3月)

地域の人々の自由な居場所づくりの提供。

○北会津文化祭(11月)

日頃の学習活動の成果の発表の場と位置づけ、広く各活動を紹介し、生涯学習の普及、啓

発を図る公民館を中心に活動する方々のふれあいの場を提供する。(新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。)

◆利用状況

区分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	952	956	1,074
	人数	13,574	13,596	17,182
図書	人数	307	211	152
	冊数	747	538	295

河東公民館

〈敷地面積〉 3,199.15㎡

〈建築延面積〉 1,063.54㎡

〈竣工〉 昭和51年6月1日

〈主な施設〉 1階 研修室、調理室、図書室

団体事務室、談話室

2階 大ホール、和室、研修室

◆主な事業(令和2年度)

【青少年教育】

○放課後子ども教室「学園キッズクラブ」(7月～11月)

地域住民の協力のもと、文化活動、スポーツ活動、交流活動などを通して子どもが自由に安心して過ごせる場所を提供する。

○学園キッズクラブ「夏休み移動教室」(8月)

学年をこえた仲間たちと、様々な体験活動を行いながら交流を図る。

○河東地域学校協働活動(通年)

地域と学校で共有する目標を設定し、地域住民の参画を得ながら、教育の実現のための仕組みづくりや地域の活性化につながる活動を実施する。子どもの健全育成と地域コミュニティの活性化を図る。

【成人教育】

○女子力アップ講座(9月～10月)

心身ともに明るく毎日を送れるよう、さまざまなことに挑戦することで、趣味の範囲を広げる。

○いきいき“健康”教室(10月～2月)

人生100年時代を迎え、健康維持のための講座やレクリエーションを行い、健康増進と社会参加、地域住民の親睦を図る。

- いきいき“趣味”教室（10月～2月）
同じ趣味を持つ市民同士の活動を通して、潤いの時間を過ごし、仲間づくりと各専門知識、技能等の向上を図る。
- デジカメ講座（7月～10月）
初心者を対象に、カメラの扱い方、写真の撮り方、パソコンへの取り込み方などを学ぶ。
- 会津ものづくり体験教室（6月～9月）
会津の伝統工芸品作りに挑戦し、匠によって継承されてきた知恵や技術に触れることで、会津の歴史の奥深さを学ぶ。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）

【その他】

- 河東公民館出前講座（通年）
各地区で活動するグループや町内会などに呼びかけ、地区の要望に基づいた内容で出前講座を実施する。
- 河東公民館無料開放日「よらんしょ・こらんしょ」（通年）
気軽に公民館にお越し頂ける場所を提供する。お茶会や趣味による交流を通して、地域コミュニティの活性化を図る。学習機会や快適なライフスタイルのヒントを見つけるなどの相談にも応じていく。
- 河東公民館ギャラリー（通年）
公民館内のロビーを利用して、地域の方々が普段の学習の成果を披露できるコーナーを設ける。
- 文化産業祭（11月8日）
公民館利用団体を中心に学習活動の成果を持ち寄り、生涯学習の普及、啓発を図ると共に、地元の農商工関係団体等の協力を得て、地域のふれあいの場を提供する。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）
- 第52回町民運動会（8月30日）
健全なスポーツ活動についての理解と関心を高め、あわせて地区住民の体力向上と相互親睦を図る。（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。）
- 第63回町内一周駅伝競走大会（11月1日）
地域の連帯感を高めるとともに、地区住民の健康保持・増進と親睦を図る。
- 第51回書初展（1月）
各地区子ども会育成会において、正月伝統行事の書初に取組んだ作品を展示し、子どもの健全育成を図る。
- 健幸スクール「河東サテライト校」運営事業（通年）

河東ふれあいネットワークと連携し、運動・食・社会活動などの講座を通して、地区住民の健康・仲間づくりを支援する。

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
公民館	回数	1,251	1,290	1,437
	人数	21,033	20,571	24,218
図 書	人数	504	509	414
	冊数	1,467	1,637	1,377

文化行政

文化振興事業

豊かな創造性と個性ある文化のまちをめざし、高度で多様な市民ニーズ・余暇時間の増大に対応した芸術文化の環境づくりを進めるとともに、文化活動の促進を図る。

また、まちの豊かさや可能性を広げていく美術芸術の積極的な振興を図り、誰もが気軽に芸術作品等とふれあうことのできるよう、美術芸術に親しむ環境の充実を図る。

◆令和元年度の主な事業

●ふれあい美術展

市が収蔵する美術作品を市内の小学校で公開し、児童のみならず、地区住民も作品と身近にふれあえる美術展を開催する。

- ・神指小学校（5月15日）
- ・湊小学校（5月29日）
- ・会津若松ザベリオ学園小学校（5月30日）

●芸術文化鑑賞促進事業

（7月23日～8月8日 計4回実施）

市内の小学生を対象に、会津鉄道を利用した市内での芸術・文化鑑賞旅行を企画する。子どもたちに、優れた芸術作品等に生で触れる機会を提供し、情操豊かな人間形成の一助とする。

●市民文化祭

*参加行事(9月から11月まで実施する行事)

*主催行事

- ・第3回日本文化に親しもう！（9月1日）
- ・第22回市民音楽のつどい（9月8日）
- ・第44回市民美術展（11月9日～17日）

●あいつまちなかアートプロジェクト事業

（10月5日～11月4日）

会津の文化資源である漆を活用した「会津・漆の芸術祭」と市が収蔵する美術作品等を活用した「まちなかピナコテカ」を地域や関係機関と連携して開催する。まちなかに優れた芸術作品を公開し、市民の芸術文化に関する意識を育むとともに地域の活性化を図る。

文化財

◆指定文化財（令和2年4月1日現在）

区 分		国	県	市	計	
有形文化財	建 造 物	4	4	7	15	
	美 術	絵 画	1	5	12	18
		彫 刻	1	2	9	12
		工 芸 品	7	4	28	39
		書 跡・典 籍	0	2	7	9
		古 文 書	0	1	2	3
		考 古 資 料	1	6	16	23
	歴 史 資 料	0	1	3	4	
小 計	14	25	84	123		
無形文化財	工芸技術等	0	0	1	1	
民俗文化財	有 形	1	0	3	4	
	無 形	0	1	4	5	
	小 計	1	1	7	9	
記念物	史 跡	4	1	13	18	
	名 勝	1	0	0	1	
	天 然 記 念 物	2	2	12	16	
	小 計	7	3	25	35	
合 計		22	29	117	168	

◆登録文化財（令和2年4月1日現在）

区 分	国	県	市	計
有形文化財	9	-	-	9
有形民俗文化財	0	-	-	0
記念物	1	-	-	1
合 計	10	-	-	10

◆埋蔵文化財調査事業

本市の各地には、旧石器時代から近世までの遺跡が広く分布し、その数は約500遺跡にのぼっている。

近年の開発行為に伴い、市では遺跡の確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めている。また、建物建設やほ場整備事業など各種事業に対処するため、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、記録保存に努めている。

〈令和元年度の主な調査事業内容〉

- ・都市計画道路藤室鍛冶屋敷線発掘調査事業
- ・城前団地発掘調査事業
- ・鶏林遺跡発掘調査事業

◆御薬園整備事業

御薬園は、昭和7年10月文部省から「名勝」の指定を受けている。徳川中期の築庭で、中央に心字の池があり、そのほぼ中央にある亀島に楽寿亭を建て、池辺には巧みに石を配し、樅、杉、松の大樹老木がそびえ、所々に伽羅木、五葉松の古木を点植し、磐梯山の遠望、東山の連山を背景とした大名庭型の山水庭として優れたものである。

地方自治法の一部改正に伴い、平成18年4月1日より指定管理者制度を導入し、御薬園の管理を一般財団法人会津若松市観光公社（現・一般財団法人会津若松観光ビューロー）に委託している。また、文化財庭園として保存を図るために、平成13年から池の護岸整備事業を実施中である。

また、東日本大震災により、御茶屋御殿は、壁の剥落、柱の亀裂、建物全体の歪み等が生じた。このため、平成24年度、指導会議により修復方針を決定し、基本設計や年次計画作成を行い、平成25年度に実施設計、地質調査を実施した。

御茶屋御殿は、江戸期の建築部と明治期の増築部に分けられ、平成26・27年度に明治期増築部の修復を、平成28・29年度に江戸期建築部の修復を実施した。

◆赤井谷地保存整備事業

赤井谷地は、北方系の貴重な植物種の生育する高層湿原で、昭和3年に国の天然記念物に指定された。

近年、周辺環境の変化により、乾燥化が進んでいることから、平成4年に学識者による調査を開始し、平成7年度に調査報告書を刊行した。

また、調査結果に基づき、赤井谷地再生保存のための指針となる保存管理計画書を平成10年度に作成した。平成13年8月2日付けで管理団体に指定された。また、平成13年度には、指定地内の民有地の公有化を行った。

平成19年2月には、湿原の周辺部が追加指定になり、平成20年に一部を公有化した。現在、湿原本体の保全と湿原内の植生回復を目指すために、計画書に示された諸策をもって環境整備を実施し、赤井谷地の保護保存事業を進めている。



貴重な植物群が現存する赤井谷地
(ホロムイイチゴ)

◆院内御廟保存整備事業

院内御廟は大きな規模と、荘厳な雰囲気を持ち、藩主は神式による葬送が行われている。江戸時代大名家墓所の中でも特に優れていることから昭和62年5月に国の「史跡」として指定を受けている。

平成13年12月に史跡保護のため公有化を行い、平成14年度には保存・管理・活用基本計画の策定を行った。

平成16年度に整備実施計画書を策定し、平成17年度から平成26年度にかけて、年次計画に基づき、樹木の整備・き損箇所・危険箇所・便益施設等の本格的な史跡内整備を行った。

平成27年度と平成29年度に石造物の現況調査を実施しており、史跡の維持管理を行いながら、調査の結果を元に、指導会議により今後の長期保存に向けた整備方針を検討している。

◆文化財の公開・展示

埋蔵文化財及び民俗品を、会津若松市歴史資料センター（愛称「まなべこ」）と河東支所内展示コーナーにおいて展示し、市内の歴史や文化の学習の場としている。

また、発掘調査の際、特に重要と考えられる遺跡については現地説明会を実施し、遺構・遺物を公開し、文化財保護に対する啓発活動を行っている。

◆会津若松市の文化財

令和2年4月1日現在

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
○ 国指定文化財						
1	重文(建造物)	旧滝沢本陣横山家住宅(主屋・座敷)	2棟	昭和46.3.11	一箕町	個人
2	〃	旧正宗寺三匠堂	1棟	平成7.6.27	一箕町	個人
3	〃	延命寺地藏堂(藤倉二階堂)	1棟	昭和25.8.29	河東町	延命寺
4	〃	八葉寺阿弥陀堂	1棟	昭和25.8.29	河東町	八葉寺
5	重文(絵画)	絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図	1幅	平成3.6.21	城東町(福島県立博物館)	福島県
6	重文(彫刻)	厨子入木造蘆名盛氏坐像	1軀	大正9.8.16	天寧寺町	宗英寺
7	重文(工芸品)	椿彫木彩漆笈	1背	昭和39.5.26	城東町(福島県立博物館)	福島県
8	〃	金銅双龍双鳥文馨	1面	昭和34.6.27	七日町	金剛寺
9	〃	大刀鋒両刃造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
10	〃	大刀切刃造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
11	〃	大刀切刃造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
12	〃	大刀鑄造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
13	〃	大刀鑄造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
14	重文(考古資料)	会津大塚山古墳出土品	一括	昭和52.6.11	城東町(福島県立博物館)	会津若松市
15	有形民俗文化財	八葉寺奉納小型納骨塔婆及び納骨器	14,824体	昭和56.4.22	河東町	八葉寺
16	記念物(史跡)	会津藩主松平家墓所	—	昭和62.5.12	東山町	市・松平家 (会津若松市)
17	〃	若松城跡	—	昭和9.12.28	追手町、城東町、栄町、花春町	会津若松市
18	〃	大塚山古墳	—	昭和47.5.26	一箕町	会津若松市
19	〃	旧滝沢本陣	—	昭和45.3.16	一箕町	個人
20	記念物(名勝)	会津松平氏庭園	—	昭和7.10.19	花春町	会津若松市
21	記念物 (天然記念物)	高瀬の大木(ケヤキ)	—	昭和16.1.27	神指町	高瀬財産区 (会津若松市)
22	〃	赤井谷地沼野植物群落	—	昭和3.3.24	湊町	市・農水省・個人 (会津若松市)
	小計	22件				
○ 県指定文化財						
1	重文(建造物)	旧中畑陣屋主屋	1棟	昭和51.5.4	東山町	株素対館
2	〃	会津松平氏庭園石造三重塔	1基	平成7.3.31	花春町	会津若松市
3	〃	蒲生秀行廟	1棟	昭和61.3.31	館馬町	弘真院
4	〃	茶室麟閣	1棟	平成11.3.30	追手町(若松城本丸跡内)	会津若松市
5	重文(絵画)	絹本着色仏涅槃図・如意輪観音像・愛染明王像	3幅	昭和36.3.22	大町	観音寺
6	〃	絹本着色松平楽翁像	1幅	昭和43.4.9	城東町(福島県立博物館)	福島県
7	〃	七里ヶ浜遠望図	1面	平成6.3.31	城東町(福島県立博物館)	個人
8	〃	絹本着色達磨図	1幅	平成10.3.31	城東町(福島県立博物館)	天寧寺
9	〃	絹本墨画著色寒山図・絹本墨画著色拾得図	2幅	平成10.3.31	城東町(福島県立博物館)	天寧寺
10	重文(彫刻)	木造十一面観音立像	1軀	昭和33.8.1	門田町	明光寺
11	〃	銅造聖観音菩薩立像	1軀	昭和35.3.29	東山町	羽黒山湯上神社
12	重文(工芸品)	鉄製注連(伝)	7枚	昭和28.10.1	追手町	諏方神社
13	〃	木造扁額「融通寺」	1面	昭和30.2.4	大町	融通寺
14	〃	太刀 銘 国宗	1口	昭和30.12.27	東栄町	個人
15	〃	青磁牡丹唐草文大瓶	1口	平成元.3.22	城東町(福島県立博物館)	福島県
16	重文(典籍)	大般若経 経櫃 附 経箱 60口	600帖 6合	平成12.3.31	相生町	自在院
17	〃	家世実紀 附 目録 1冊・ 収納箱 5合	277冊	平成15.3.25	城東町(福島県立博物館)	福島県

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
18	重文(古文書)	築田家文書	一括	平成 13. 3. 30	城東町(福島県立博物館)	個人
19	重文(考古資料)	福島信夫山出土品	一括	昭和 28. 10. 1	城東町(福島県立博物館)	福島県
20	〃	金銅製双魚袋金具	2 枚	昭和 58. 3. 25	城東町(福島県立博物館)	福島県
21	〃	原山 1 号墳出土埴輪	一括	平成元. 3. 22	城東町(福島県立博物館)	福島県
22	〃	常世原田遺跡出土品	一括	平成 10. 3. 31	城東町(福島県立博物館)	福島県
23	〃	田村山古墳出土品	一括	昭和 28. 10. 1	城東町(福島県立博物館)	田村山地区
24	〃	大戸窯跡群出土品	一括	平成 19. 4. 6	追手町(埋蔵文化財収蔵庫) 他	会津若松市
25	重文(歴史資料)	陸奥国会津城絵図	1 鋪	平成 9. 3. 25	城東町(福島県立博物館)	福島県
26	無形民俗文化財	冬木沢の空也念仏踊	1 団体	昭和 47. 4. 7	河東町	空也光陵会
27	記念物(史跡)	大戸窯跡群	—	平成 10. 3. 31	大戸町	福島県ほか
28	記念物 (天然記念物)	梁川産パレオバラドキシア化石	—	平成 4. 3. 24	城東町(福島県立博物館)	福島県
29	〃	白山沼のイトヨ生息地	—	昭和 51. 5. 4	北会津町	会津若松市
	小計	29 件				

○ 市指定文化財

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
1	有文(建造物)	石造層塔	1 基	昭和 34. 4. 13	宮町	個人
2	〃	善龍寺の山門	1 棟	平成 13. 1. 23	北青木	善龍寺
3	〃	下荒井観音堂	1 棟	昭和 49. 4. 1	北会津町	宝寿院
4	〃	両堂不動堂お籠り堂	1 棟	昭和 63. 5. 7	北会津町	両堂地区
5	〃	蒲生氏郷五輪塔	1 基	平成 18. 4. 19	栄町	興徳寺
6	〃	蒲生忠郷五輪塔	1 基	平成 18. 4. 19	中央	高巖寺
7	〃	法紹山浄光寺釈迦堂	1 棟	平成 18. 4. 19	宝町	浄光寺
8	有文(絵画)	圓輪光曼荼羅	1 幅	昭和 34. 4. 13	川原町	弘長寺
9	〃	伝李龍眼筆絹本羅漢像	1 幅	昭和 34. 4. 13	川原町	弘長寺
10	〃	絹本着色両界曼荼羅図	双幅	昭和 49. 2. 13	城東町(福島県立博物館)	観音寺
11	〃	絹本着色十六善神図	1 幅	昭和 49. 2. 13	城東町(福島県立博物館)	観音寺
12	〃	絹本着色愛染明王像	1 幅	昭和 49. 2. 13	城東町(福島県立博物館)	観音寺
13	〃	紙本水墨雪村周継筆瀟湘八景図 屏風	半双	昭和 51. 3. 22	七日町	金剛寺
14	〃	愛宕神社奉納絵馬	4 面	昭和 53. 3. 16	慶山	愛宕神社
15	〃	紙本着色帝鑑図屏風	1 双	昭和 56. 3. 28	東山町	栴素対館
16	〃	絹本着色伝保科正光画像	1 幅	昭和 56. 3. 28	建福寺前	建福寺
17	〃	絹本着色伝保科正経画像	1 幅	昭和 56. 3. 28	建福寺前	建福寺
18	〃	紙本淡彩遊魚図伝雪村筆	1 幅	昭和 61. 4. 24	七日町	金剛寺
19	〃	八幡神社奉納絵馬	2 面	昭和 61. 4. 24	一箕町	八幡神社
20	有文(彫刻)	蒲生賢秀坐像	1 軀	昭和 33. 11. 10	追手町	恵倫寺
21	〃	銅造阿弥陀如来立像	1 軀	昭和 50. 3. 25	川原町	弘長寺
22	〃	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	昭和 50. 3. 25	川原町	弘長寺
23	〃	木造馬頭観音坐像	1 軀	昭和 51. 3. 22	大町	観音寺
24	〃	木造文殊菩薩坐像	1 軀	平成 7. 6. 15	相生町	自在院
25	〃	多門院毘沙門天像	1 軀	昭和 49. 4. 1	北会津町	寺堀地区
26	〃	松命山蓮華寺須弥壇	1 基	昭和 49. 4. 1	北会津町	宝寿院
27	有文(彫刻)	極楽地藏(延命地藏)	1 軀	昭和 50. 4. 1	北会津町	上米塚地区
28	〃	甲賀町鶴ヶ城稲荷神社神像	1 軀	平成元. 2. 22	馬場町	鶴ヶ城稲荷神社
29	有文(工芸)	刀剣(表銘 兼元)	1 振	昭和 33. 11. 10	中町	個人
30	〃	刀剣(表銘 長道)	1 振	昭和 33. 11. 10	福島市	個人
31	〃	刀剣(表銘 奥州会津住政長)	1 振	昭和 33. 11. 10	中央	個人
32	〃	刀剣(表銘 奥州大掾三善長)	1 振	昭和 33. 11. 10	追手町	会津若松市

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
33	〃	道) 刀剣(表銘 陸奥大掾三善長道)	1 振	昭和 33. 11. 10	東栄町	個人
34	〃	会津漆器	一式	昭和 36. 11. 18	追手町	個人
35	〃	刀剣(表銘 和泉守兼定焼刃真宗鉄鍛造之)	1 振	昭和 36. 11. 18	東山町	株素対館
36	〃	刀剣(表銘 陸奥会津住三善藤四郎長道)	1 振	昭和 36. 11. 18	東栄町	個人
37	〃	刀剣(表銘 奥州会津住長国)	1 振	昭和 36. 11. 18	中央	個人
38	〃	刀剣(表銘 奥州会津住政長)	1 振	昭和 36. 11. 18	東京都多摩市	個人
39	〃	刀剣(表銘 陸奥会津住三善長道)	1 振	昭和 36. 11. 18	城南町	個人
40	〃	田中正玄夫人副葬膳腕一式	一式	昭和 51. 3. 22	城東町 (福島県立博物館)	妙国寺
41	〃	朱塗瓶子	1 対	昭和 55. 3. 29	宮町	八角神社
42	〃	能面	6 面	昭和 55. 3. 29	城東町	会津能楽会
43	〃	刀剣(表銘 和泉守藤原兼定)	1 口	昭和 60. 3. 23	東山町	株エム・アソシエイト
44	〃	会津正阿弥鐺	3 枚	昭和 60. 3. 23	東栄町	個人
45	〃	会津正阿弥鐺	3 枚	昭和 60. 3. 23	中町	個人
46	〃	銅造懸佛	1 面	昭和 60. 3. 23	相生町	自在院
47	〃	銅造薬師如来坐像	1 軀	昭和 60. 3. 23	相生町	自在院
48	〃	銅造懸佛	1 面	昭和 60. 3. 23	大町	弥勒寺
49	〃	木造扁額「稻荷大明神」	1 点	平成元. 2. 22	馬場町	鶴ヶ城稲荷神社
50	〃	木造扁額「正一位稲荷大明神」	1 点	平成元. 2. 22	馬場町	鶴ヶ城稲荷神社
51	〃	鞘塗「変塗」標本	154 枚	平成 2. 3. 16	徒之町	県立会津工業高等学校
52	〃	枝菊漆絵会席膳腕一式	34 点	平成 2. 3. 16	追手町	会津若松市
53	〃	初代・若狭守藤原道辰作受領紀年銘大小刀	2 振	平成 20. 4. 21	追手町	会津若松市
54	〃	林光正作漆塗手板	1 枚	平成 20. 4. 21	追手町	会津若松市
55	〃	花瓶	1 対	昭和 58. 11. 10	北会津町	常德寺
56	〃	自然山融通寺梵鐘	1 点	平成 28. 6. 22	大町	融通寺
57	有文(書跡)	蒲生氏郷書簡	1 通	昭和 33. 11. 10	追手町	恵倫寺
58	〃	一休墨蹟	1 幅	昭和 33. 11. 10	七日町	個人
59	〃	松平容保・照姫より萱野権兵衛宛書簡・和歌・覚	各一葉	昭和 34. 4. 13	城東町 (福島県立博物館)	福島県
60	〃	草書十八名号	3 幅	昭和 34. 4. 13	川原町	弘長寺
61	〃	大曼陀羅御本尊日什上人真筆	1 卷	昭和 54. 3. 22	一箕町	妙国寺
62	〃	旧東明寺藏葦名盛氏文書	1 幅	昭和 57. 3. 24	川原町	弘長寺
63	〃	葦名止々齋書状	2 幅	平成 11. 2. 18	宮町	個人
64	有文(古文書)	芦名兼載軸物	1 卷	昭和 55. 4. 1	北会津町	八幡神社
65	〃	八幡神社棟札	3 枚	昭和 55. 4. 1	北会津町	八幡神社
66	有文(考古資料)	岩倉山石造塔婆	4 基	昭和 51. 3. 22	湊町	舟木地区
67	〃	石仏供養碑	1 基	昭和 54. 3. 22	一箕町	会津若松市
68	〃	観応年記銘供養碑	1 基	昭和 54. 3. 22	湊町	上馬渡地区
69	〃	阿弥陀如来像供養碑	1 基	昭和 54. 3. 22	栄町	興徳寺
70	〃	墓料遺跡出土土器 (昭和 49・54 年出土分)	45 点	昭和 57. 3. 24	栄町	市教育委員会 (保管)
71	有文(考古資料)	東田面供養碑	3 基	昭和 58. 3. 24	湊町	東田面地区
72	〃	石仏供養碑	1 基	昭和 62. 5. 8	北会津町	今和泉地区
73	〃	館山供養碑	2 基	平成 9. 3. 18	湊町	個人
74	〃	坂本供養碑	2 基	平成 9. 3. 18	湊町	個人
75	〃	応長の碑	1 基	昭和 45. 6. 8	河東町	代田地区
76	〃	暦応の碑	3 基	昭和 45. 6. 8	河東町	会津若松市
77	〃	観応の碑	1 基	昭和 45. 6. 8	河東町	冬木沢地区
78	〃	皆鶴姫の碑群	6 基	昭和 62. 2. 3	河東町	会津若松市

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
79	〃	須恵器の舟形二面硯	1点	平成 3. 4. 25	河東町	会津若松市
80	〃	古屋敷(富田屋敷)の大甕	1点	平成 3. 4. 25	河東町	会津若松市
81	〃	石製模造品	6点	平成 3. 4. 25	河東町	会津若松市
82	有文(歴史資料)	若松城下絵図	半双	平成 11. 2. 18	栄町	個人
83	〃	牡丹獅子図金屏風	1双	平成 16. 4. 19	栄町	個人
84	〃	日新館資料群	80点	平成 24. 2. 20	栄町	個人
85	無文(工芸技術)	会津塗	1団体	平成 31. 3. 25	大町	会津塗技術保存会
86	有形民俗文化財 (民俗資料)	酒造用具	107点	昭和 57. 3. 24	材木町	会津酒造博物館
87	〃	獅子舞資料	一括	昭和 58. 3. 24	高野町	橋本木流地区
88	〃	稲荷原の石工用具及び石製品	72点	平成 3. 4. 25	河東町	会津若松市
89	無形民俗文化財 (民俗)	会津三匹獅子舞	3団体	平成 16. 2. 23	天寧・下居合・本滝沢	地区保存会
90	〃	小松彼岸獅子	1団体	昭和 47. 4. 1	北会津町	小松地区
91	〃	槻橋彼岸獅子舞	1団体	昭和 50. 4. 9	河東町	槻ノ木地区
92	〃	八田野神楽	1団体	平成 3. 4. 25	河東町	八田野神楽保存会
93	記念物(史跡)	天文台跡	—	昭和 43. 9. 18	米代	会津若松市
94	〃	葦名家花見ヶ森廟所 (16・17・18代墳墓)	—	昭和 47. 11. 1	花見ヶ丘	会津若松市
95	〃	村北瓦窯跡	—	昭和 47. 11. 1	大塚	会津若松市
96	〃	蒲生秀行公廟所	—	昭和 53. 7. 10	館馬町	弘真院
97	〃	穴切の一里塚	1基	昭和 61. 4. 24	湊町	個人
98	〃	長命寺築地堀	—	昭和 5. 9. 16	日新町	長命寺
99	〃	旧会津藩大窪山共同墓地	—	平成 12. 1. 20	門田町	財務省
100	〃	田村山古墳	—	昭和 47. 4. 1	北会津町	田村山地区
101	〃	上人壇	1基	昭和 53. 4. 1	北会津町	古麻生地区
102	〃	古屋敷古墳群	3基	昭和 49. 5. 15	河東町	個人
103	〃	八田野一里塚	2基	昭和 44. 9. 19	河東町	八田野地区・東京電力
104	〃	藤倉の館跡	—	昭和 47. 1. 21	河東町	個人
105	〃	堂ヶ作山古墳	—	平成 19. 7. 20	一箕町	55名共有
106	記念物 (天然記念物)	石部桜	1本	昭和 43. 9. 18	一箕町	会津若松市
107	〃	太夫桜	1本	昭和 43. 9. 18	一箕町	会津若松市
108	〃	赤井の大イチョウ	1本	昭和 49. 2. 13	湊町	個人
109	〃	建福寺境内のシダレザクラ	1本	昭和 55. 3. 29	建福寺前	建福寺
110	〃	峰張ザクラ	1本	平成 9. 3. 18	蚕養町	蚕養国神社
111	〃	芦ノ牧のイチイ	1本	平成 10. 2. 19	大戸町	個人
112	〃	平田の櫻の木	1本	昭和 47. 4. 1	北会津町	宝寿院
113	〃	白山沼のイトヨ	—	昭和 47. 4. 1	北会津町	下荒井地区
114	記念物 (天然記念物)	無頭沼のイトヨ	—	昭和 63. 5. 7	北会津町	今和泉地区
115	〃	小出の樅の木	1本	昭和 49. 4. 1	北会津町	蟹川地区 (宝光院境内)
116	〃	ホテルの森のゲンジボタル	—	平成元. 6. 15	北会津町	会津若松市
117	〃	熊野神社三幹のスギ	1本	平成 2. 11. 9	北会津町	下荒井地区
	小計	117件				

○ 国の登録文化財

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
1	有形文化財	向瀧旅館 4 棟	1 ヲ所 (4 棟)	平成 8.12.20	東山町	(株)向瀧
2	〃	林家住宅	1 棟	平成 10.12.11	材木町	個人
3	〃	日本基督教団若松栄町教会	1 棟	平成 12. 4.28	西栄町	(宗) 日本基督教団 若松栄町教会
4	〃	旧鍋三本店 (星野家住宅)	1 ヲ所 (2 棟)	平成 29.10.27	材木町	個人
5	〃	末廣酒造嘉永蔵	建造物 6 棟 工作物 3 件	平成 30.11. 2	日新町	末廣酒造
6	〃	平田家住宅	3 棟	平成 30.11. 2	行仁町	個人
7	記念物	会津飯盛山白虎隊士墳墓域	1 件	平成 31. 2.26	一箕町	(公財) 会津弔霊義 会
8	有形文化財	福西本店	6 棟 工作物 1	令和元.12. 5	中町	会津若松まちづくり (株)
9	〃	竹藤	4 棟	令和元.12. 5	中央	個人
10	〃	仙峡閣	1 棟	令和元.12. 5	大戸町	(有) 仙峡閣
	小計	10 件	(28 棟・工作物 4 件・記念物 1 件)			

歴史資料の調査と研究・市史研究

歴史資料センター

会津図書館が生涯学習総合センター(會津稽古堂)に移転したことに伴い、鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想に基づき、歴史資料等の保管・管理をはじめ郷土の歴史に関する調査・研究や展示施設として建物の利活用を検討してきた。

そして、施設名称を「会津若松市歴史資料センター」と定め、「先人に憧れ、郷土に誇りを持つ学びの場」をコンセプトとして平成26年7月にプレオープンした。施設の一般公開に先立ち、愛称を公募し、「まなべこ」とした。その後、企画展示室と講義・学習スペースを整備し、平成27年9月13日に全館開館した。

歴史資料センターでは、市民や観光客からの郷土の歴史・文化に関する問い合わせに対するレファレンス窓口を設置している。また、歴史資料の保管や研究拠点としての機能の他に、広く会津の歴史・文化について情報発信していく役割を持った施設として運営している。

◆施設

- 〈建設年月〉 昭和44年7月
- 〈敷地面積〉 2493.39㎡
- 〈延床面積〉 1635.67㎡
- 〈構造〉 鉄筋コンクリート造3階建
地下1階
- 〈書庫〉 積層5層

市史編さん事業

◆第1次市史編さん事業

昭和16年から「若松市史」上・下巻を発刊

◆第2次市史編さん事業

昭和42年から「会津若松史」12巻・別巻1(大塚山古墳)を刊行

◆第3次市史編さん事業

平成9年から平成21年度までに会津若松市史編さん事業計画・全体刊行計画により、55巻を刊行

◆北会津村史編さん事業

平成16年度に合併した際に継続事業として実施し、本編3巻、史料目録2巻を刊行

第3次市史編さん事業の経過

平成11年の会津若松市制百周年を記念し、後世に誇りうる郷土の歩みを集大成し、市民共有の文化遺産としてこれを継承していくために第3次「会津若松市史」の編さんが、平成9年度より平成21年度までの13カ年にわたり取り組まれた。

この編纂にあたっては、歴史研究の人材の発掘、養成も視野にいれながら、市内外の各種研究団体の専門家、学識経験者等による「会津若松市史研究会」を発足させ、これに編さんを委託し実施した。(市史研究会は平成9年2月25日発足)

第3次市史編さん業務は、平成21年度までは秘書広聴課が担当し、平成22年度は会津図書館が担当した。

◆市史研究継続の必要性

市史編さんの全体刊行計画による出版物の刊行は終了したが、収集された資料の解説・検証研究は、その一部が整理・保存されたに過ぎない。

今日のめまぐるしく変貌を遂げる社会状況の変化の中、会津地方には散逸消滅が危惧される多くの未調査貴重文書が残されているが、これらの資料についても、市史編さん事業で収集された資料文書とともに解説・調査・保存していくことが、歴史的文化遺産を次代に継承することにつながる。

また、古文書研究は一朝一夕に出来るものではなく、その解説や調査を行うためには歴史的専門知識を必要とするため、引き続き「会津若松市史研究会」に委託し、古文書等の資料所在調査・収集・解説・検証・保存に努めるとともに、あわせて市史の販売・在庫管理、市史の内容に関する問い合わせ対応を継続して行っている。

公益財団法人 会津若松文化振興財団

財団設立の趣旨

地域住民の芸術文化活動は、多方面にわたり活発となり、地域住民自らが主体的に参加する参加型の芸術文化活動の範囲が広がってきている。このため、文化的な生活環境の整備や文化活動の向上に資する環境づくりが強く求められている。

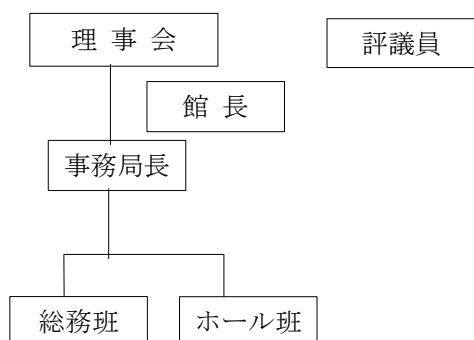
そこで、芸術文化活動への機運を大切にし、さまざまな芸術文化に接する機会や学習の場を提供するとともに、自主的な芸術文化活動を支援していくことなどの積極的な芸術文化の振興を図るため、これまで以上に専門的な知識や経験の必要性、さらには、文化施設のより柔軟で効率的な運営体制が必要となってきている。

そのため、自主文化事業の企画実施や地域文化創造の活動、自主的な芸術文化活動への支援を通して、地域文化の振興及びこころ豊かな人間の育成を図り、もって豊かな地域文化の形成と発展に寄与することを目的に「財団法人会津若松文化振興財団」を設立したものである。

沿革

平成5年5月19日	設立許可書交付
平成5年5月27日	設立登記
平成6年4月1日	會津風雅堂の管理運営を受託
平成6年6月27日	會津風雅堂開館
平成15年4月1日	文化センターの管理運営を受託
平成18年4月1日	會津風雅堂・文化センターの指定管理者として両施設の管理運営を開始
平成25年4月1日	公益財団法人へ移行
平成26年4月1日	会津能楽堂を含め3施設の指定管理者として管理運営開始

組織



主な事業

事業の概要については、文化施設を拠点とした芸術文化の振興と、市民文化の創造に寄与するための支援を2本の柱として以下の事業を行っている。

(1) 芸術文化鑑賞促進事業

財団自らが企画した公演事業を展開し、低料金で幅広い芸術文化鑑賞の機会の提供を図る。

(2) 文化のまちづくり事業

地域に根ざした文化の創造を目的に、市民にとって見る側としての芸術文化の鑑賞にとどまることなく、自らが演じる側となるよう事業を展開する。

具体的には、演劇などの創作をする。それらを通して市民の連帯意識と舞台技術等の向上を図り、より一層の文化の普及に努める。

(3) 文化情報提供事業

財団の行う催事はもとより、広く各文化施設の行う催事などを案内していくことや、各種の文化団体等が取り組んでいる事業内容を広く情報として提供し、地域文化の振興に資する。

(4) 舞台芸術技術振興事業

舞台芸術技術に関心のある方々を対象に、舞台芸術に関する講習会や実技研修会を開催し、知識及び技術の習得を図る。

(5) 文化振興基金運営事業

文化振興基金の運用により、市民団体等の文化活動へ助成金による支援を行う。

(6) 文化施設管理運営事業

地域文化創造活動の拠点となる文化施設（會津風雅堂、文化センター、会津能楽堂）について、会津若松市より指定管理者の指定を受け、管理運営を行う。

◆令和元年度の自主事業

- 小学生芸術鑑賞教室（6月21日）
キッズシアター わらび座ミュージカル「ゼロ弾きのゴーシュ」
- 中学生芸術鑑賞教室（7月3日）
わらび座ミュージカル「ジパング青春記～慶長遣欧使節団出帆～」
- 美術展（10月10日～17日）
新しいAIZUの美術展
- 會津風雅堂開館25周年記念事業（5月12日）
第20回荒城の月市民音楽祭

- ・會津風雅堂開館 25 周年記念事業(11 月 29 日)
東京フィルハーモニー交響楽団
会津若松特別講演
- ・住民参加型タップダンス公演 (3 月 8 日)
TAP ～rhythm of life～
- ・舞台公演 (10 月 10 日)
DRUM TAO ザ・ドラマーズ
ほか ワークショップなど

會津風雅堂

會津風雅堂は、地域の芸術文化活動の振興と施設の利用を主な業務とし、ひいては文化情報発信基地及び独自性のある活動を行う公共文化ホールとなるよう設置された。

平成 30 年度より新たに 4 年間、多角的な取り組みで芸術文化の振興を目的とする「公益財団法人会津若松文化振興財団」が指定管理者としての指定を受け、適正かつ効率的で柔軟性のある運営により、個性的で魅力ある芸術文化の創造、地域文化向上の拠点として「地域住民から愛される會津風雅堂」を目指している。

◆施設

- 〈設置主体〉 会津若松市
- 〈建設費〉 4,832,682 千円
- 〈開館〉 平成 6 年 6 月 27 日
- 〈建築構造〉 鉄骨鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造 地上 5 階地下 1 階
- 〈延床面積〉 7,306.66㎡
- 〈付属施設〉
 - ・ホール 固定席 1,752 席 (1 階 1,152 席、2 階 600 席)車イス席 6 席
 - ・舞台形式 プロセニアム形式(間口 20 m、高さ 10 m、奥行き 17 m)
 - ・舞台面積 922.9㎡(有効面積約 800㎡)
 - ・舞台設備 オーケストラピット、音響反射板(走行式)
 - ・楽屋 8 室(大、中、小、個室※各和洋 2 室)、シャワー室(2 室)
楽屋事務所
 - ・付属室 リハーサル室、会議室 2 室(和洋)
 - ・その他 エントランスホール、ホワイエ、喫茶コーナー、談話コーナー、託児室、休憩室、打合室、事務室、コインロッカー

◆利用状況

区 分		元年度	30 年度	29 年度
ホール	日数(日)	187	203	214
	人数(人)	93,682	101,914	106,062
リハーサル室	日数(日)	141	158	183
	人数(人)	4,168	4,838	6,032
会議室(洋室)	日数(日)	111	140	138
	人数(人)	1,211	1,511	1,430
会議室(和室)	日数(日)	80	102	110
	人数(人)	526	631	725

文化センター

文化センターは、市民の文化の振興を図るため、音楽、演劇、舞踏、美術等の芸術文化活動の普及振興のため利用されている。平成 30 年度より新たに 4 年間、「公益財団法人会津若松文化振興財団」が指定管理者の指定を受け、その管理運営を行っている。

◆施設

- 〈設置主体〉 会津若松市
- 〈工事費〉 588,848 千円
- 〈開館〉 昭和 53 年 11 月 22 日
- 〈建築構造〉 鉄筋コンクリート造地上 3 階
- 〈延床面積〉 2,564.10㎡
- 〈主な施設〉 文化ホール、展示兼会議室、ホワイエ、特設展示場、音楽練習室、美術実習室、練習室
- 〈付属設備機器〉 能舞台、所作台、音響反射板スクリーン、ピアノ(フルコンサート、アップライト)、音響機器、照明設備

◆利用状況

区 分		元年度	30 年度	29 年度
文化ホール	件数(件)	224	265	207
	人数(人)	37,449	50,270	39,998
その他各室	件数(件)	1,121	1,217	1,237
	人数(人)	31,172	36,194	34,769

会津能楽堂

会津地域における伝統文化の継承・育成を図るため、能をはじめとする伝統文化や幅広い民俗芸能などの研修施設として設置した。

平成30年度より新たに4年間、「公益財団法人会津若松文化振興財団」が指定管理者の指定を受け、その管理運営を行っている。

◆施設

〈設置主体〉 会津若松市

※平成21年8月19日一般社団法人
会津能楽建設協会より寄附

〈所在地〉 会津若松市文化センター隣り

〈施設概要〉 木造平屋建銅板葺
能舞台・研修室・給湯室・トイレ

〈延床面積〉 238.47㎡

〈供用開始〉 平成21年10月1日

〈使用料〉 6,480円～8,640円（4時間単位）
研修室のみ 1,080円（4時間以内）

◆利用状況

区 分		元年度	30年度	29年度
全 館	人数(人)	2,498	2,180	2,367
研修室	人数(人)	451	546	461

社会体育

スポーツ推進基本計画

◆「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでもスポーツを楽しむことができるまち」

スポーツ振興法が全面改正し、新たにスポーツ基本法が制定され、国においてはスポーツ基本計画、県においてもスポーツ推進基本計画が策定された。本市においては、法が制定されたこと、第7次総合計画が策定されを踏まえ、市民が「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」気軽にスポーツに親しみながら、健康で豊かな生活を送ることができる社会の実現を目指し、本市の実情に応じたスポーツ推進施策を体系的、計画的に推進するため、平成29年度を初年度に10年を期間とした「会津若松市スポーツ推進基本計画」を新たに策定した。

社会体育事業

◆令和2年度の主な事業

- 県民スポーツ大会北会津支部大会（※中止）
 - ・内容 ソフトテニス、家庭バレーボール、バドミントン、壮年ソフトボール、テニス、卓球
 - ・使用施設 会津総合運動公園ほか
 - ・関係団体 北会津管内体育協会連絡協議会
- 第67回市民水泳大会（※中止）
 - ・内容 部門別種目別水泳競技会
 - ・使用施設 会津水泳場
 - ・関係団体 市民水泳大会実行委員会
- 第32回会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会（※中止）
 - ・内容 部門別男女別マラソン大会
 - ・使用施設 あいづ陸上競技場ほか
 - ・関係団体 第32回会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会実行委員会
- 第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（11月15日）
 - ・コース 郡山市～福島県庁（9区間）
 - ・関係団体 会津若松市陸上競技協会
- 第65回市民体育祭（2月7日）
 - ・内容 剣道、なぎなた、卓球、バドミントン、ミニバスケ、家庭バレーボール、弓道、柔道、ソフトテニス

- ・使用施設 あいづ総合体育館、河東総合体育館、武徳殿、弓道場、あいづドームほか
- ・関係団体 各実施種目団体

- 第64回市民スキー大会（2月7日）
 - ・内容 部門別、男女別アルペン競技会
 - ・使用施設 アルツ磐梯スキー場
 - ・関係団体 市民スキー大会実行委員会

◆本市で開催される主な大会（令和2年度）

- 全会津総合体育大会 21種目（※中止）
- 東日本少年剣道大会（※中止）
- うつくしまトライアスロン in あいづ（※中止）

※中止：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

学校体育施設開放事業

スポーツ基本法第13条及び社会教育法第44条第1項に基づき、社会体育振興の一環として体育施設（体育館、校庭）を学校教育活動に支障のない範囲で、一般市民の健全な余暇利用の場として、体力づくり、スポーツレクリエーション活動に供する。

◆開放校

No.	開放校	校庭	校庭夜間	体育館
1	鶴城小学校	○	—	○
2	城北小学校	○	—	○
3	行仁小学校	—	—	—
4	城西小学校	○	—	○
5	謹教小学校	○	—	○
6	日新小学校	○	—	○
7	湊小学校	○	—	○
8	一箕小学校	○	—	○
9	松長小学校	○	—	○
10	永和小学校	○	—	○
11	神指小学校	○	—	○
12	門田小学校	○	—	○
13	城南小学校	○	—	○
14	大戸小学校	○	—	○
15	東山小学校	○	—	○
16	小金井小学校	○	—	○
17	荒館小学校	○	—	○
18	川南小学校	○	—	○
19	河東学園小学校	○	—	○

20	第一中学校	○	—	○
21	第二中学校	○	—	○
22	第三中学校	○	—	○
23	第四中学校	○	—	○
24	第五中学校	○	—	○
25	第六中学校	○	○	○
26	湊中学校	—	—	—
27	一箕中学校	○	—	○
28	大戸中学校	—	—	—
29	北会津中学校	○	—	○
30	河東学園中学校	○	—	○
	合 計	27校	1校	27校

◆開放日及び開放時間

● 開放日

体育館校庭については、年間を通しての開放とする。ただし、学校教育活動に支障がないことを前提とするため、利用許可は学校の判断の元で行う。なお、管理指導員を配置できる期間は下記のとおりとする。

● 開放期間（管理指導員付開放）

- ・体育館開放 5月～2月
- ・校庭夜間開放 5月～10月
- ※令和2年度については6月22日から再開

● 開放時間

- ・体育館 ① 9:00～12:00 ② 13:00～16:00
③ 18:00～21:00
- ・校庭 ① 5:00～ 8:00 ② 9:00～12:00
③ 13:00～16:00 ④ 19:00～21:00

総合型地域スポーツクラブ育成事業

市民のだれもが生涯の各時期にわたりスポーツに親しむことができる住民主体の「総合型地域スポーツクラブ」を本市独自の地域スポーツ組織である地区体育連盟を核に育成する。

総合型地域スポーツクラブ

地域住民が主体的に運営し、子どもから高齢者、障がい者まで様々なスポーツを愛好する人々が参加できるクラブで以下の特徴をもっている。

- ・多様目、多世代、多志向であり、だれでも参加できる。
- ・活動拠点であるスポーツ施設、クラブハウスがあり、計画的な活動を行う。
- ・質の高い指導者の下、適切な指導が受けられる。
- ・地域住民が主体的に運営する。

◆令和2年度 事業計画

- ・育成希望地区への啓発活動
- ・クラブマネージャー養成セミナーへの派遣
- ・運動施設指定管理者との連携（施設の有効活用促進）

ニュースポーツ振興事業

● ニュースポーツ出前教室

- ・使用施設 各小中学校体育館、各公民館など
- ・関係団体 会津若松市スポーツ推進委員会

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業等

タイ王国のホストタウンとして、ボクシング代表チームの事前合宿受入に努めるとともに、同国の歴史や文化を紹介する場を設けることにより、スポーツを応援する機運を高める関連事業を推進する。

- ・タイ王国ボクシングチーム事前キャンプ実施をはじめとする市民交流事業の開催
- ・タイ王国の歴史・文化等にふれる場の設定
- ・聖火リレー開催に向けた盛り上げ施策の実施